

平成29年度 重症心身障がい児(者)の在宅医療に対する支援研修会の参加者を募集しています

茨城県立医療大学付属病院では、今回初めて「重症心身障がい児(者)の在宅医療に対する支援研修会」を開催します。

医療的ケアが必要なお子さんが、住み慣れた地域で安心して生活できるようにサポートする人材の育成を目的とした、医療・福祉関係者向けの研修会です。

県内の訪問リハビリテーション施設、訪問看護施設、病院、福祉施設、特別支援学校等で重症心身障がい児(者)のケアに従事している皆様から、広く参加者を募集しています。

研修会の内容

全5回の講義を通して、重症心身障がい児(者)のケアに必要な基礎知識を習得できます。

回	テーマ	講師	実施日時
1	重症心身障がい児(者)の概要	茨城県立医療大学付属病院 病院長 岩崎 信明、 小児科 医師 (予定)	平成29年11月30日(木) 18時30分～20時00分
2	気管切開・人工呼吸器	茨城県立医療大学付属病院 小児科 医師、看護師 (予定)	平成29年12月21日(木) 18時30分～20時00分
3	ポジショニング・呼吸リハ	茨城県立医療大学付属病院 理学療法士、作業療法士 (予定)	平成30年1月18日(木) 18時30分～20時00分
4	摂食・口腔ケア・胃ろう	茨城県立医療大学付属病院 看護師、作業療法士 (予定)	平成30年2月15日(木) 18時30分～20時00分
5	遊びとコミュニケーション まとめ	茨城県立医療大学 作業療法学科 教授 大島 隆一郎 (作業療法士)	平成30年3月22日(木) 18時30分～20時00分

場所：茨城県立医療大学付属病院 会議室1（稲敷郡阿見町阿見 4733）

申込方法：茨城県地域リハ支援センターホームページ(<http://www.hosp.ipu.ac.jp/chikishien/>)に申込書を掲載しています。郵送かファクスで医療大学付属病院 病院管理課までお申込みください。

重症心身障がい児(者)とは

重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態を重症心身障害といい、その状態にある子どもを重症心身障がい児、成人した人を含めて「重症心身障がい児(者)」と呼びます。

(出典：社会保障審議会障害者部会ヒアリング資料(2008.8.20) <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/08/dl/s0820-2a.pdf>)

胃ろうや気管切開などの医療的ケアを必要とする方も含まれています。

研修会の目的・来年度以降の予定

茨城県立医療大学付属病院は、県内唯一の県立リハビリテーション専門病院として、茨城県小児リハ推進支援センターの指定を受けて医療やリハビリの支援を行っています。

なかでも、重症心身障がい児(者)を支える在宅医療の充実は大きな課題であることから、重症心身障がい児(者)のケアに従事する方々の資質向上等を図るために、今年度新たに開催するものです。

平成30年度以降についても、より効果的な人材育成のための研修を継続していこうと考えております。

取材報道に関する問い合わせ

茨城県立医療大学付属病院
病院管理課 秋山
稲敷郡阿見町阿見 4733
TEL 029-888-9200
FAX 029-840-2418